

# 社員の力で推進する持続可能性

- |   |                  |        |
|---|------------------|--------|
| ① | 会社・事業所概要・環境方針と目標 | 佐藤真樹子  |
| ② | 世界と日本での取り組み      | 醍醐 聡   |
| ③ | 環境チームの立ち上げ       | 青木 知枝  |
| ④ | 今後の課題            | 佐藤 高基  |
| ⑤ | まとめ              | 佐藤 真樹子 |

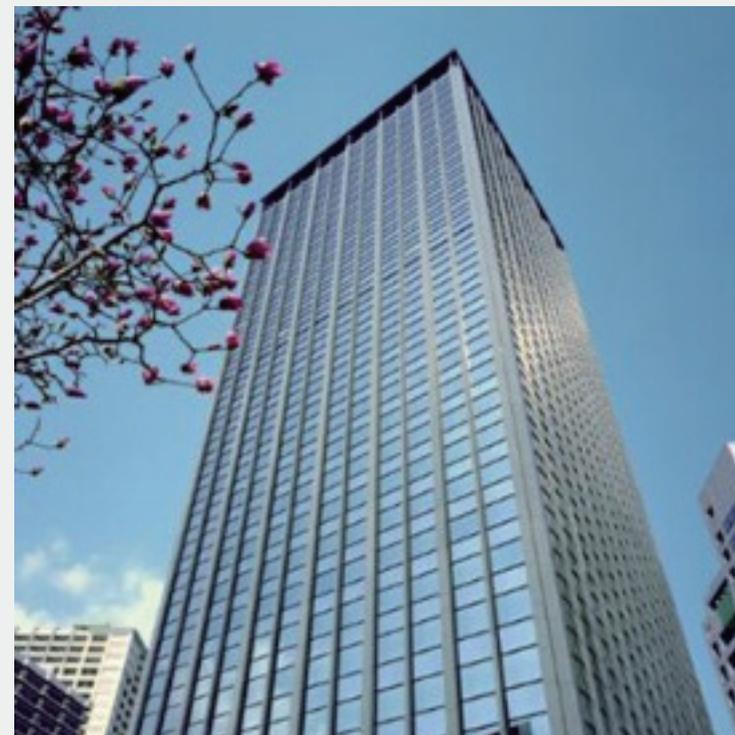


# 事業所概要

東京都千代田区西神田3丁目 5 - 2

千代田ファーストビル西館

- 2004年8月入居
- 一棟借りで、2500名程度の社員が所属。
  - 14フロア分 = 執務スペース
  - 1フロア = 共有応接・会議室
  - 0.5フロア = メールルームや健康管理センター等のシェアドサービス機能
- 18階～32階は条例により住居となっている。



# 我が信条

- 1943年3代目社長ロバート・ウッド・ジョンソンJrによって起草された会社の信条。
- 顧客、社員、地域社会、株主という4つの利害関係者に対するそれぞれの責任を明記したもの。
- 第3の責任：地域社会に対する責任

「我々は良き市民として、有益な社会事業および福祉に貢献し、健康の増進、教育の改善に寄与し、適切な租税を負担しなければならない。我々が使用する施設を常に良好な状態に保ち、環境と資源の保護に努めなければならない。」



## 我が信条

我々の第一の責任は、我々の製品およびサービスを使用してくれる患者、医師、看護師、そして母親、父親をはじめとする、すべての顧客に対するものであると確信する。顧客一人ひとりのニーズに応えるにあたり、我々の行なうすべての活動は質的に高い水準のものでなければならない。我々は価値を提供し、製品価値を引き下げ、適正な価格を維持するよう常に努力をしなければならない。顧客からの注文には、迅速、かつ正確に応えなければならない。我々のビジネスパートナーには、適正な利益をあげる機会を提供しなければならない。

我々の第二の責任は、世界中で共に働く全社員に対するものである。社員一人ひとりが個人として尊重され、受け入れられる職場環境を提供しなければならない。社員の多様性と尊厳が尊重され、その価値が認められなければならない。社員は安心して仕事に従事できなければならない。仕事を通じて目的意識と達成感を得られなければならない。待遇は公正かつ適切でなければならない。働く環境は清潔で、整理整頓され、かつ安全でなければならない。社員の健康と幸福を支援し、社員が家族に対する責任および個人としての責任を果たすことができるよう、配慮しなければならない。社員の間、善悪が自由にできる環境でなければならない。能力ある人々には、雇用、能力開発および昇進の機会が平等に与えられなければならない。我々は卓越した能力を持つリーダーを任命しなければならない。そして、その行動は公正、かつ透明にかなったものでなければならない。

我々の第三の責任は、我々が生活し、働いている地域社会、更には全世界の共同社会に対するものである。世界中のより多くの場所で、ヘルスケアを身近で充実したものにし、人々がより健康でいられるよう支援しなければならない。我々は良き市民として、有益な社会事業および福祉に貢献し、健康の増進、教育の改善に寄与し、適切な租税を負担しなければならない。我々が使用する施設を常に良好な状態に保ち、環境と資源の保護に努めなければならない。

我々の第四の、そして最後の責任は、会社の株主に対するものである。事業は健全な利益を生まなければならない。我々は新しい考えを試みなければならない。研究開発は継続され、革新的な企画は開発され、将来に向けた投資がなされ、失敗は憚らなければならない。新しい設備を購入し、新しい施設を整備し、新しい製品を市場に導入しなければならない。逆風の際に備えて蓄積を行わなければならない。これらすべての原則が実行されてはじめて、株主は正当な報酬を受取ることができるものと確信する。

Johnson & Johnson

# 2018 年度 ヘルス・フォー・ ヒューマニティ レポート

CSR と持続可能性に関する活動進捗状況

## 省エネ・炭素効率性

当社では主に3つの領域(エネルギー需要の低減・省エネ化、低炭素化・再生可能エネルギーへの移行、バリューチェーンにおける排出量削減の推進)で、省エネ・炭素効率性向上を図っています。科学的な調査を基にスコープ1およびスコープ2の温室効果ガスの絶対排出量の削減目標を定め、2050年にかけて大幅な削減にコミットします。2050年までに再生可能エネルギーで全ての設備を賄うという目標達成に向け、投資とオペレーション整備を進めており、ビルの新設・改修時には環境に優しいビルの認証を取得しています。2018年には中国とコロンビアにおいて、LEEDでプラチナ認証とゴールド認証を取得しました。

本資料は、米国ジョンソン・エンド・ジョンソン社が発表したHealth for Humanity Reportを日本語に翻訳し、皆様のご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。英文資料は下記リンクをご参照ください。

<http://healthforhumanityreport.jnj.com/>



ジョンソン・エンド・ジョンソン・コンシューマーカンパニーが「新プラスチック経済グローバル・コミットメント」に参画